

LASER World of PHOTONICS INDIA

ファイナルレポート

国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市
インド・ニューデリー / プラガティ マイダン
2017年9月14日～16日

2017年9月19日

LASER World of PHOTONICS INDIA 2017

インドのレーザー産業 明るい未来を証明

Summary

- ・「Make in India」の取り組みをレーザー産業と研究所が促進
- ・ニューデリーに6,404人のトレードビジターが来場
- ・初開催の付加製造(3Dプリンタ)パビリオンと会議 成功裏に終了

Facts & Data

会 期	2017年9月14日(木)～16日(土) 午前10時～午後6時
会 場	インド・プラガティ マイダン Pragati Maidan
主 催	Messe München - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
出 展 規 模	5,500 m ²
出 展 企 業	16カ国から160社(2016年:20ヶ国から140社)
来 場 者 総 数	6,404人(2016年:7,182人)
主 な 出 展 品	レーザー・オプトロニクス、光学、オプティクス、センサー・テスト・測定技術、 サービス、レーザーシステム製造技術、光学測定システム、光学情報技術
専 用 U R L	www.world-of-photonics-india.com (英語)

ニューデリーのプラガティ マイダン見本市会場で開催された第 6 回 LASER World of PHOTONICS INDIA は、6,404 人の来場者を集め、成功裏に幕を閉じた。5,500 平方メートルにおよぶエリアに、16 カ国から代理店との共同出展社を含めた 170 社(主出展社は 160 社)の出展企業が、製品、最新トレンド、レーザーと光学技術の世界における市場動向、および産業アプリケーションを紹介した。

COHERENT Laser India 社、社長の Dr. Lalit Kumar は、見本市について次のように述べた。「この展示会で素晴らしい経験ができた。ブースにて数々の引き合いと将来的なビジネスリードを得ることができた。新旧顧客と会い、反響は非常に良いものであった」

TRUMPF India 社、社長の Dr. Pradeep Patil は「今後の展示会にも参加することで、引き続き多くのビジネスチャンスを得ることができると確信している。この展示会は産業や特に我々の会社に、実質付加価値を生み出している」と付け加えた。

ニューデリーで開催することにより、自動車、重工業エンジニアリング、鉄道、看板や印刷など多くのアプリケーション産業にとってアクセスしやすい場所となった。これら全ての産業において、効率と品質向上のためにレーザーの使用が拡大しているということを LASER World of PHOTONICS INDIA が明らかにした。

バイヤー・セラーフォーラムに参加したレーザー科学技術センター DRDO (インド政府)、所長の Haribabu Srivastava 氏は、「レーザー機械の数が毎年増加していることから、レーザーには明るい未来があることを我々皆が分かっている。レーザーは医療、電気通信、インターネットやエンターテイメントなどの幅広いアプリケーションに使用することができる。見本市ではレーザーのあらゆる側面が網羅されていた。産業と研究所が一丸となって取り組めば、政府の目標である『Make in India』を達成できると信じている」と語っている。

付加製造(3D プリンタ)パビリオンと会議

付加製造(3D プリンタ)パビリオンが初めて開催され、産業アプリケーションにおける付加製造(3D プリンタ)向けのプロセスとシステムが紹介された。CNT(Catalysing New Technologies) Expositions and Services LLP 社と共催した付加製造(3D プリンタ)会議において、参加者は産業向け 3D 印刷の成長市場についての情報を得た。

CNT 社によると、2015 年までの付加製造(3D プリンタ)の製造目標規模はおよそ 13 兆ドルであったが、付加製造(3D プリンタ)のマーケットシェアは 50 億ドルであった。ボストン・コンサルティング・グループは、2020 年までに年平均成長率が約 30 パーセントになると予想している。インドでは付加製造(3D プリンタ)の人气が高まっており、多くの企業は純粋なプロトタイプ製造から、付加製造(3D プリンタ)を使用した機能部品製造に移行してきていると CNT 社は述べている。

Renishaw India 社、業務・技術マネージャーの Nayan Patel 氏は、次のように述べた。「今回初めて

LASER World of PHOTONICS INDIA に出展した。出展は大成功であった。特にデリー首都圏などの北部の市場は、付加製造(3D プリンタ)のためにエコシステムが必要であり、ここは最適なプラットフォームだ。今後もこのイベントに参加することを楽しみにしている」

ナレッジプラットフォームー IEEE フォトニクス & レーザー安全フォーラムによる短期講習

IEEE フォトニクス (Institute of Electrical and Electronics Engineers Photonics)により開催された3つの短期講習では、ファイバーレーザーとアプリケーションの異なる側面、ナノフォトニクス、光ファイバーとウェーブガイドの基礎を網羅した。

レーザー安全フォーラムは、開始から2年連続で出展社と来場者から非常に前向きな反響を得た。産業のための最も重要な知識共有の場の一つとして注目を浴びた。参加者は、作業環境におけるレーザーの安全な使用について学んだ。

バイヤー・セラーフォーラムでは、販売者と購入者間で将来的なビジネス関係を結ぶための建設的な直接話し合う機会を設けた。Hero MotoCorp、Bhilai Engineering Corporation、Hella India Automotive社、LASTEC – DRDO社、Sagar Asia社などの企業が参加した。

見本市の成功について、メッセ・ミュンヘン・インド CEO のプピンダー・シンが次のようにコメントした。
「LASER World of PHOTONICS INDIA は再び成功裏に終了した。そして好意的な反響に満足している。レーザー技術は、多くの分野の将来において主要な技術の一つであるということが、この見本市において明白であった」

次回の LASER World of PHOTONICS INDIA は、2018年9月26日から28日にかけて、インド・バンガロールのバンガロール・インターナショナル・エキシビション・センターにて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.world-of-photonics-india.com まで。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)